



めざせ！！南十字星

★夢と勇気と元気をもって★ 2020・7・22

学校だより

1 学期号

ヨハネスブルグ日本人学校

オンラインでの1学期、無事終了!!

前例のない状況で学校・家庭が連携して授業ができたことに感謝

子ども達に「どんな一年にしますか。」「新たな一歩を築きましょう。」と呼びかけて、スタートした令和2年、だれがこんな事態になると想像したでしょう。1月に中国で発生した新型コロナウイルスの報道を受けたときは、正直、世界に広がらなければと警戒はしたものの、その感染力については未知数でしたので、対岸の火事的なところがありました。

しかし、日が経つにつれコロナは世界中を巻き込み、ついに南アにも上陸、JSJ からコロナ感染者を絶対に出さない覚悟でコロナ対策ガイドラインを作成したところでした。幸い、現在、JSJ 関係者から誰一人感染者が出てないのは不幸中の幸いです。また、学校閉鎖で始業式、入学式も出来ずに令和2年度の開始、さらに一時帰国者と南ア滞在者の二つに分かれてのオンライン授業開始、このようにだれも予想できなかった事態の1学期でしたが、保護者の皆様の協力、教師の創意工夫の授業、そして、子どもたちの明るく授業に臨む授業態度に助けられ、無事1学期を終えることが出来ました。さらに、運営委員会の皆様においては、学校再開に向けてのコロナ対策マニュアル作り等に尽力頂きました。すべての皆様に感謝致します。

明日(23日)より、冬休みに入りますが、南アはもとより日本においても依然として、コロナ感染のリスクは高いレベルで推移しております。生活には十分留意され、8月17日の2学期始業式には全員が元気で会えることを祈念しております。どうぞ、安全で充実した冬休み(夏休み)をお過ごし下さい。



【みんなの帰りを待つ校舎】

<校長室からひとりごと>

～普段の授業が出来ることを切に願う～

ヨハネスの冬は寒い。日本の冬も寒いですが、ヨハネスの冬はしんと冷え身に堪える。これは家の造り、特に板間とタイルのフローリングの違いが大きく関係していると思う。先週は朝の気温がゼロ度という日もあり、真冬の様相だったが、幸い今週は少し気温が上向いたようだ。このまま、春に向かうことを願いたい。

さて、上欄でも述べたが、全人類だれもが経験していない6ヶ月が過ぎた。新型コロナウイルスの真の正体は解明されず、世界中が混乱に陥り、人の移動を封鎖するが立ちゆかない。経済は疲弊する。どうしてもコロナとの共存を選択しながらの新生活様式が迫られてきた。

JSJにおいても、登校せずのオンライン授業を選択し、その中で子ども達の学習を保障し、子ども達の知識の獲得に全力を注いできた。幸い、JSJの子ども達の学習環境は、各家庭にWi-Fi環境があるとともに少人数であること。これが功を奏し、普段の授業に勝るとも劣らない学習効果を得ていると思う。

しかし、本来は教師と子ども達が対面で、勉強はもちろんのこと集団生活を行い、失敗や成功を繰り返しながら、多くのことを学ぶのが真の姿である。

8月17日から始まる2学期では対面による学習が出来るか定かではないが、一日も早く、在籍児童生徒が全員JSJに集結し、普段の授業が行われ、子ども達の歓声が響くJSJであることを切に願う。

そして、少し不自由な冬休み(夏休み)になるだろうが25日間、コロナに罹らず、充実した日々を送ってほしい。



【寒さに耐え咲くペチュニア】